平標山・前武尊山スキー

記　T野

当初の計画は北東北の焼石岳・栗駒山・山伏岳だった。しかしよくあることだが天候が芳しくない。3日間とも雨マークが並びテンクラもＣではさすがにへこむ。早速転進先を探すが一番まともなのが上越・武尊周辺、それとて3/21の12時がかろうじてＡだがそれ以外はＣ。ただ天気予報は晴れマークが並び悪くはない。北海道の東海上に爆弾低気圧があるが3/20はともかく3/21～22は等圧線もそれほど混んでおらずテンクラＣはおそらく強風によるものだと思うが何とかなりそうな気がする。仮に何ともならなくても北東北と比べれば断然近場、お財布にも優しく多少リスクはあるが消去法で今回は上越・武尊方面に転進を決める。

3/19夜、「道の駅白沢」で軽く入山祝いの後ＳＢ。3/20、夜が明けると予報通り上空は晴れている。ただ、武尊方面に目を転じると、ぶ厚い雪雲が山々を覆い隠し、麓であるここでさえ強風が吹き荒れている。常識人で気もあまり強くないオジサン、オバサンパーティーの我々にとってここで突っ込むという選択はないのであっさりと今日の山行を諦め、いかに楽しく今日を過ごすかに全精力を注ぐことにする。

まず、すき家でのんびり時間をかけて朝食。その後、明日が一番期待できるのでルートをいざという時にも樹林帯で撤退もしやすいユウガイヒト沢～平標山に決めて入山口に出向き視察。雪が繋がっていることを確認したら湯沢で今日の宿探し、交渉してリーズナブルな宿をゲットしたら湯沢の町をのんびり観光、さらに、ゆったり温泉に浸かったら夜は居酒屋で本格的な入山祝い！！さーて明日が本番だ。

ユウガイヒト沢～平標山

山スキー

3/21

メンバー：Ｔ野・Ｉ崎・Ｙ科・Ｋ野・Ａ原・Ｔ山・Ｔ中Ｍ

（3/21苗場スキー場積雪：80cm）

早起きして二居の林道除雪終了点まで車を走らせ、7:50に登山口を出発、一部の飲み過ぎメンバー以外は休養十分で体調も良い。さらに思った通り昨日吹き荒れていた風もやみ絶好の登山日和！！やはり転進は正解だった。日白山方面に行く林道を左に分け地王堂川を渡り林道を歩いていくと案内板があり松手山方面に行く登山道から離れユウガイヒト沢沿いを登る。雪はかろうじて繋がっているが来週は危ないかもしれない。1400m付近で沢を離れて左岸の急な尾根に取り付く。昨日うっすらと雪が降ったようでシールの効きはまずまずだがやはり雪不足は否めず薮を避けながら登って行く。

■写真上　白亜の豪華客船、苗場山バックに

■写真下　仙ノ倉～万太郎の稜線

急斜面が続くので早々にクトーを付けるがＫ野さんはクトーを持っておらず、山スキーも本格的に始めたのが今年からという事もあり時、時折雪ダルマになって苦戦している。ツボ足で登ることを提案してＴ野とＩ崎さんがＫ野さんの板を1本ずつ持つことにするが、薮が濃くあちこちで引っ掛かり非常に登りにくい。ただ、一人でツボ足で登ったＫ野さんはもっときつかっただろう。多くは語らない今回の最年少、そうはいっても年齢はすでに50過ぎ、不連続に潜る雪はさぞ登りにくいだろう。額の汗と荒い息づかいがそれを物語っている。薮の近くは潜りやすいのでできるだけ薮のない場所を登ることと、スキーのトレースを辿らず最短距離を直登することをアドバイスしたがどのくらい役に立ったかは不明だ。ではクトーを付けて歩いた他のメンバーはルンルンだったか？といえば全くそんなことはなく、藪の濃い急斜面はルート取りも難しく一定のリズムが作れないのでそれなりに消耗は激しいのである。

■写真上　平標山手前の小ピークを行く。
■写真中　平標山の最後の登り。
■写真下　届いた！！平標山頂上。

スキーはジグザグに、ツボ足は直登で頑張って登ると1600m位で樹林が切れ、視界が開けてご褒美が待っていた。白亜の豪華客船「ダイアモンドプリンセス号」を思わせる巨大な白い台形の山容を誇る苗場山！！（いや失敬、時節柄ちょっと例えが悪いか・・・）そしてそれに続く雄大な佐武流山の稜線、奥に見えるのは秘峰、鳥甲山か？素晴らしい眺めが背後に開けた。傾斜も幾分緩み、Ｋ野さんも再び板を履いて少し楽しくなってきたようだ。尾根沿いは雪が波打ち部分的に切れている場所もあるのでそういう場所は北側を巻くようにして登って行く。やがて1757mの小ピークに出ると正面にドーンと谷川連峰から巻機の銀屏風！！遠くには尾瀬や越後の山脈がかすみ、さらに豪華な景色が開けた。テンクラと違って風も穏やか！！「止まない風はない！！」とどこかの偉い文豪が書いていたような気がするががまさしくその通り、読みが当たった！！

ところで、今日、私は大きな問題がなければピークを目指そうと思っていた。前回（2017年）に訪れた時は強風で山頂を諦めた経緯もあるのだが､「登れる条件の時には多少きつくても登っておきたい。」というのは常に思っていることだ。一方、何となくだがメンバーの多くはここから滑っても良いと思っていたのではないかと感じていた。ということで､1757ｍピークではあえて休憩も取らずに平標山に向けて黙って歩き始めた。私の雰囲気を察してかＭさんが「仕様がないなぁー､Ｔ野の道楽に付き合ってやるか！！」と他のメンバーを笑わせて雰囲気が和んだ。さぁー、あと標高差約200m、ピークを目指すぞ！！

■写真上　山頂付近の滑降。
■写真下　同じく。

ルートはしばらくは殆ど平坦な稜線漫歩で順調にピークが近づいてくる。しかし徐々に傾斜が強くなり斜面が北を向いてくると部分的にカリカリのアイスバーンが出現する。致命的ではないがツルっといくと10～20m位は滑落しそうだ。ここは自信のあるメンバー以外は再びツボ足になり主稜線に登り上げる。そこがピークっぽく見えるが地形からしてそうでないことはわかっている。「騙されんゾ！！」と登り詰めると案の定、一度下った先に本物のピークをロックオン。ほぼ、制限時間と思っていた13:00にピークに着いた。何回も登っているピークだがやはり踏むと踏まないでは山行の価値が違うと思う。今日は登れてよかった！！

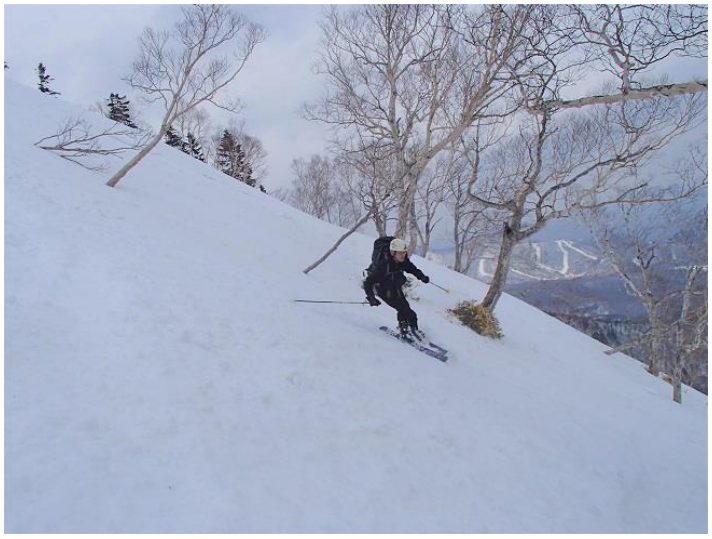
帰路は登り返す小ピークでシールを剥がす。一部カリカリもあるが、稜線上はまあまあ快適であっという間に1757ｍピークに着く。やっぱスキーは早い。時間に余裕があれば平標沢源頭の北斜面を1本滑って登り返せばより充実するが、今回は時間も押しているのでそれはパス。飛び込めそうな場所を探してユウガイヒト沢に滑り込む。

上部は急斜面で雪は生コンだがまあ、何とかターンが楽しめる。しかしそれもつかの間、徐々に藪は濃くなり、先行者のシュプールでグサグサになった生コンとともに快適の「カ」の字もない滑降となる。前回来た時はここは快適なパウダーで快哉を叫んだルートであったが条件が違うとこうも違うものか。実際あと1.5m雪があれば全然違うと思うが「あれも山、これも山」である。「早く終わってくれー！！」と思いながら下ることピークから約2時間、無事下山！！

終わってみればなかなか良い山行だったと思えるのだから不思議なものだ。それはやはりピークを踏んだからこそ得られる感覚だと思う。例えばマッサージで「痛、痛、痛・・・アァー気持ちいい・・・」という感覚、山はこれに近い感覚、つまり「キツ、シンド、キツ・・・・アァー気持ちいい・・・」終わって初めて感じる心地良さだ。「バックカントリースキー」はスキー自体の楽しさを追求するものだが「スキー登山」は終わった後の充実感を楽しむものである。今回は間違えなく後者である。そして後者の場合、ピークを踏んだかどうかで山行の印象がかなり違うものなのである。そういう意味でピークを踏んだからこそ「終わってみればなかなか良い山行だった。」という言葉が出てきたと私は思うのである。

さて、同行したメンバーのこの山行の印象は？
もちろん、印象は人それぞれ・・・ちょっと怖くて聞けないのである・・・・。
「宿場の湯」で体を清め、今日は再び「道の駅白沢」でＳＢ。

■コースタイム
林道除雪終了点（7:50）～（13:00）平標山（13:20）～（15:30）林道除雪終了点



前武尊～十二沢山スキー

3/22
メンバー：Ｔ野・Ｉ崎・Ｋ野・Ａ原・Ｔ山・Ｔ中Ｍ
（3/22　オグナ武尊スキー場積雪：60cm）

今日は午前中勝負、雨との競争だ。昨日しっかり充実したので今日は軽く・・・ということで選択したのがこのルートだ。荒砥沢や西俣沢は何回か滑ったことがあるが、ここ十二沢は距離も短くゲレンデの延長みたいな感じなのが気に入らず今まで敬遠してきたので今回が初めてである。

オグナ武尊スキー場に着いて実感した。「今日、荒砥沢を滑ったら下部で絶対ハマる」と・・・。辺りの景色はすでにＧＷ、スキー場も寂しげだ。リフトを4本乗り継いでリフトトップから歩き出す。すでに標高約1800ｍ！！歩き始めは急でシール歩行の練習に最適だ。そして登ること30分、ハイ、前武尊山頂（2040ｍ）です！！手軽だ、手軽すぎる。山頂のお地蔵さんと同じポーズで写真撮ってシールを剥がして滑降開始！！

斜面も雪質もなかなか良い、少なくても昨日の10倍は快適だ。ガンガン滑って行けばあっという間にゲレンデが見えてくる。何度も言うが手軽だ、手軽すぎる。

■写真上　前武尊でジャンプ！！
■写真中　地蔵にならえ！！
■写真下　快適な滑降！！

ただ、これが良い。ここはこの手軽さが良いのだ。何故なら山スキーのコソトレにホント最適なのだ。1日3回も反復すれば登り2時間で標高差1000ｍ以上も滑れる。よい練習になるし、山ボーダーも多いので歩きのトレースもバッチリ、ここならグッチーも一緒に楽しく遊べるだろう。登りも良い感じの急斜面が

ありシール歩行の練習にも最適だ。東京からも近い。実に効率的だ。いいとこ見っけ！！

　初めて滑ったがこんなに良いところだとは思わなかった。まぁ、食わず嫌いっていうやつですね。来年からはチョコチョコ寄らしてもらおうと思います。

　で、1日3回滑ったのかって・・・？

　イヤイヤ今回は雨との競争、1回で降りてきました。降りたら雨が落ちてきました。ナイス判断と快哉を叫びたいところです。常識ある気のあまり強くないオジサン、オバサンパーティーは決して無理はしないのです。

　エッ、偉そうに講釈していた昨日と矛盾してるって・・・？

　・・・・・大人ならＴＰＯというのがあるでしょう。

　さあ、温泉という事で定番の花咲の湯へ。ゆっくり温まって、ご飯食べておかげで早い時間に帰京しましたとさ。

■写真上　昨日の10倍はいい！！
■写真下　下部も気持いい滑降が続く！！

■コースタイム
リフトトップ（9:20）～（9:55）前武尊（10:15）～（10:40）ゲレンデベース